SDGs新聞	日本調剤株式会社

薬剤師ってどうしたらなれるの？

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの中に、薬剤師になりたい人はいますか？薬剤師になるには、大学の薬学部で6年間勉強しなければなりません。
大学では薬について学び、薬局や病院での実習を通して、薬剤師に必要な知識を学びます。
そして、国家試験に合格すると、あなたは立派な薬剤師になれます。
全国で薬局を運営している「日本調剤」でも、3,000名を超える薬剤師たちが活躍しているんですよ。
たくさんの薬剤師たちが、病気や治療についての情報をもとに患者さまの薬を準備する「調剤」や、
薬の効果や飲み方の説明をする「服薬指導」など、さまざまな仕事をしています。
薬剤師はわたしたちが健康に、幸せに、生きていくために欠かせない、とても重要な仕事なんです。
さぁ、薬剤師についてもっと知りたくなった！という人はいますか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：「薬剤師の仕事」のイメージ画像
（日本調剤公式HPより）

みなさんが病院でもらった処方せんをもとに、薬局で薬を用意して、正しい飲み方を教えてくれるのが薬剤師です。薬剤師は、わたしたちが安心・安全に薬を飲むためにサポートしてくれる大切な存在です。薬剤師になるためには、大学の薬学部で6年間勉強して、薬についての知識をたくさん学びます。その後、薬局や病院などでの実習を通じていろいろな技術を身につけます。そして薬剤師の国家試験に合格すると、薬剤師として働くことができるようになります。

画像参照：薬剤師による在宅医療サービスのイメージ画像
（日本調剤公式HPより）

全国で薬局を運営している「日本調剤」では、薬剤師が3,000名以上も活躍していて、日本中のさまざまな地域で人々の健康を支えています。また、日本調剤の薬剤師は薬局での患者さん対応（調剤や服薬指導）だけでなく、例えば身体が不自由な人の家に薬を届けたり、オンラインで薬の選び方や飲み方を説明したり、健康に関する相談に乗ったりなど、人々に寄り添ったサポートを行っています。「薬剤師」とひと言で言っても、仕事はさまざまです。もっと薬剤師について調べてみましょう。

キーワード

処方せん

医師が患者さんの病状に応じて、薬の調合や飲み方などを薬剤師に指示することを「処方」といい、それが書かれた紙のことを「処方せん」といいます。

薬学部

大学で薬について勉強する学部です。6年間の学びを通じて、薬とその関連分野の専門家として必要な知識や技術を身につけます。

調剤と服薬指導

調剤は、処方せんをもとに薬を準備する作業のことです。服薬指導は、薬の飲み方や注意点を薬剤師が説明することです。

対象ゴール

みなさんにできること！	
薬剤師の仕事内容や薬学部のことをもっと調べてみましょう	
おさらい	● 薬局や病院で「調剤」や「服薬指導」を行うのが薬剤師。 ● 大学の薬学部で6年間勉強して試験に合格すると薬剤師になることができる。 ● 日本調剤では、全国のさまざまな地域で3,000名以上の薬剤師が活躍している。

メモ

SDGsラジオ